

ホクレンの営農情報誌



ap
hokuren
agriport

アグリポート

12-1月号

DEC.-JAN.
2016-17
VOL.04

ホクレン マーケット通信
個食化に対応した
付加価値商品の開発

特集：指定団体制度をめぐる問題から

制度を考える



私が就農したのは昭和42年。まだ農耕馬を使っていました。5年後、地域の農家十数戸が共同で小さなトラクターを購入しましたが、将来、自分でトラクターを持てるようになるなんて、当時は思ってもみませんでしたね。

機械のおかげで生産力が高まり、経営規模も拡大。品種改良や土地改良も進み、このさき多少の自然災害などがあつたとしても大きな打撃を受けることはないだろうと考えていましたが、今年の台風ではあらためて自然の威力を思い知らされました。

私の牧場のある新得町では、鉄道が開通して100年以上経ちますが、鉄橋が2つ落ちたのは初めての事です。河川が氾濫し、断水が2週間以上続きました。市街地には自衛隊の給水車が出動しましたが、組合員のところは農協が中心となって生乳のタンクローリーなどを使い、水を運び続けました。隣の清水町はもっと被害が大きく、ほ場のみならず牛舎や施設まで流された牧場もあり、茫然とする生産者を、ただ励ますことしかできませんでした。

オホーツクの常呂川周辺も回りましたが、畑が水没して今年の収穫は皆無という方もいらつ



あの人の VIEW POINT

力を合わせ、逆境を乗り越えよう。

ホクレン農業協同組合連合会 代表理事副会長 伊藤 政光

contents

03 特集

指定団体制度をめぐる問題から

制度を考える

05 生産者の立場から考える

07 乳業メーカーの立場から考える

09 研究者の視点から考える

11 ホクレン マーケット通信

- 個食化に対応した付加価値商品の開発
- ホクレン福岡支店
- mori★repo「ホクレン大収穫祭 in 銀座三越」実施レポート
- 海外駐在員レポート シンガポール

19 みんなの取り組み広場

- 植生改善に向けた取り組み
- 農作業パート確保に向けた新しい取り組み

21 品種・技術 ここがポイント！

- 土壌診断による施肥改善
- アスパラガスの品種動向について
- でん粉原料用馬鈴しょ新品種「コナヒメ」

27 農業経営塾

- 耕地図への書き込みから始まる経営管理

29 情報 clip

- 新規農業
- 各種災害共助・見舞金制度ご紹介
- ICT 情報 水田センサで見える化に取り組む

33 読者の皆さんからの声

しゃいました。我々生産者は収穫の喜びが体に染みこんでいますから、作物が収穫目前で失われたとなると、どれほど大きな衝撃でしょう。

どうか、この辛さに負けず、ともに頑張つて乗り越えましょう。もちろん、こういうときこそ組織がしっかりと支援しなければならぬと各農協も奮起しています。ホクレンも、さしあたってやらなければいけないことと、時間とお金がかかってもやるべきことを整理しながら、生活に必要なことから急いで対応していくつもりです。困難なときに踏ん張れるかどうか。今こそ助け合い、協同の精神が求められています。

1948（昭和23）年、新得町生まれ。畑作と酪農を営む家庭で6人兄弟の3男として育つ。高校卒業後に就農し2haの畑からスタートして65haまで拡大。現在は酪農専業で、搾乳牛約100頭のほか、和牛も飼養している。JA新得町の組合長、十勝農協連の会長を経て、2008年より現職。ストレス解消法は趣味の果実酒づくり。（自宅の牛舎前にて撮影）



そもそも指定団体制度とは？

指定団体制度は、昭和41年に施行された「加工原料乳生産者補給金等暫定措置法」（通称…不足払い法）に基づいた制度です。この法律は、加工原料乳向けの生乳を生産する酪農家に補給金を交付することを定めたものですが、補給金を受け取ることができないのは指定団体に生乳を出荷している酪農家に限定されています。

指定団体は全国に10団体あり、北海道ではホクレンが指定されています。指定団体は「三元集荷多元販売」「全量無条件委託」「用途別取引（プールの乳価）※」などを行い、酪農家の経営安定と所得向上、需給調整に大きな役目を果たしてきました。

制度ができた背景

昔は、酪農家がそれぞれ個別に乳業メーカーと価格等の交渉をして生乳を販売していました。しかしその交渉は対等とは言えず、さらには集乳ルートが入り乱れ、わざわざ遠方から運んでいる場合もあり、輸送コストがふくらんでいました。

これに対し、指定団体制度の下で各酪農家の生乳をまとめる事で「経済的な力」として乳業メーカーと対等な立場で交渉する事が可能となる他、効率的な集荷体制で輸送コストを抑えることができます。

特集：指定団体制度をめぐる問題から 制度を考える

今年3月、規制改革会議（現 規制改革推進会議）農業ワーキンググループが答申で「指定団体制度の廃止」を提言しました。それを受け規制改革会議は、今秋までに指定団体制度の是非・現行の補給金の交付対象の在り方を含めた抜本的改革を検討し、結論を出すとなりました。

指定団体制度の見直しは、酪農家の所得向上や牛乳乳製品の需給安定につながるのか、あらためて考えてみたいと思います。

指定団体制度のメリット

【価格交渉力強化】



酪農家毎に交渉をすると、数量がまとまっておらず酪農家は不利な立場になる。指定団体に生乳をまとめることで、その大きな数量を「経済的な力」として価格交渉力が強化される。

【輸送コスト削減】



地理的条件の異なる酪農家が、バラバラに乳業メーカーへ輸送するのは非効率かつ高コスト。指定団体がまとめて集乳に回することで、効率的な輸送となりコストが削減できる。

【需給調整機能】



生乳は他の農産品と異なり、腐敗しやすいため毎日処理する必要があるが、各乳業メーカーからの需要は日々変動。指定団体がそれらの需給調整を担うことで、安定的に生乳が出荷できる。

【災害・事故発生時の輸送対応機能】



天災や突発的な事故等の発生により乳業メーカーへの出荷が不可能な場合も、指定団体は、輸送能力を最大限発揮し、広域的な配乳ができる。

特集 制度を考える

※プール乳価／飲用・脱脂粉乳・バター・生クリーム・チーズなど、用途別に異なる乳価をプール（合計）して補給金とともに支払うことで、どの地域でも酪農家が公平に乳代を受け取ることができる仕組み。

また、日々変動する需要に対しても指定団体が多くの乳業メーカーと調整することで、牛乳乳製品の安定供給を担ってきました。

なぜ問題になってくるのか？

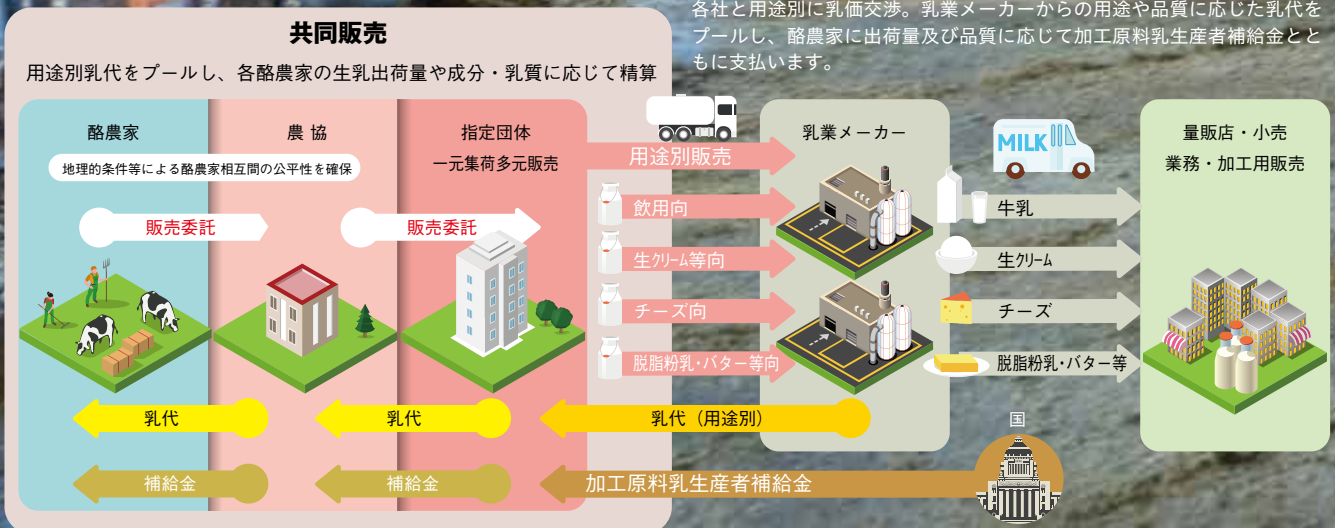
近年、指定団体を離れ、乳価の高い飲用向けのみで販売する団体に生乳を販売する動きがあります。

さらに、「指定団体に生乳を出荷する酪農家だけに補給金が交付される仕組みは公平ではない」「酪農家の所得向上のため酪農家が自由に販売できる仕組みが必要だ」といった議論が規制改革推進会議でなされ、制度そのものが注目されているのです。

「特集」制度を考える

指定団体制度での生乳販売の流れ

指定団体は酪農家から生乳販売の委託を受けて共同販売し、乳業メーカー各社と用途別に乳価交渉。乳業メーカーからの用途や品質に応じた乳代をプールし、酪農家に出荷量及び品質に応じて加工原料乳生産者補給金とともに支払います。





生産者の立場から考える

生産者だけで農業は守れない

北海道農協青年部協議会 副会長 安達永補さん

指定団体は既得権益を独占しているのでしょうか。酪農家が自ら価格交渉すると収入は増えるのでしょうか。「指定団体制度」の是非をめぐる議論について、標津町で酪農を営む安達永補さんにお聞きしました。

指定団体はあってあたり前の存在

標津町で酪農を営む安達永補さん。規制改革会議の「指定団体制度廃止」の提言を知った時は「マジか?」と驚きました。

「指定団体制度はあってあたり前の空気みたいな存在。自分たちの世代には、なくなったら大変だという危機感も薄いような気がします」

規制改革の議論をきっかけに、生産者も生乳流通の仕組みを勉強しなきゃならないと感じています。

「僕らの搾る生乳は主に乳製品向けの加工用ですが、青年部でも『飲用で本州に出せばいいじゃん』と言う人がいるんです。そりゃ高く売れるほうがいいから、その気持ちはわかるけど、じゃあ本州の酪農家をつぶしてまで儲けたいか、ということですよ」

本州の酪農家は草場が少なく生産コストが高いため、乳価の高い飲用向けで売らないと収支が合いません。一方、北海道は広大な牧草地を活用できることから生産コストが抑えられる傾向にあります。

北海道の牛乳を全て飲用で出荷したら、府県の乳価も下落し本州の酪農家は減少する一方、乳製品にまわす生乳は足りなくなり国産の乳製品は消えるかもしれません。本州の酪農家が縮小すれば、乳牛の販売先もな

くなってしまう。「だから、本州の酪農家とのすみ分けが必要なんだ」と、安達さんは順序を追って説明するようにしているそうです。

「僕は農協の理念である相互扶助という言葉が好きなんです。北海道と都府県の間が助け合ってよりよい社会をつくる。その基本が農業だと思っただけです」

メーカー間の調整役は誰が担う?

万が一、指定団体制度が崩れれば、地域ごとに乳価も変わり、消費地から遠い地域は不利になるのではないかと危惧しています。

「昨年だったか、爆弾低気圧の猛吹雪で別海方面も釧路方面も通行止めになったことがありました。唯一アクセスできたのが雪印のなかしべつ工場。標津の生乳はもとそこへ搬入されますが、この時は普段搬入しない生産者の分も雪印が受け入れました。結局、雪印がマックスの能力で処理してくれましたが、指定団体が調整してくれなければ、行き場を失った生乳はどうなっていたか分かりません」

だからこそ、生産者も指定団体制度の存在意義をしっかりと理解しなくてはならないと感じています。

「暫定措置だったのに50年続いできた制度ですよ。知れば知るほど指定団体でよかったという声が出てくると思



北海道の酪農家への影響

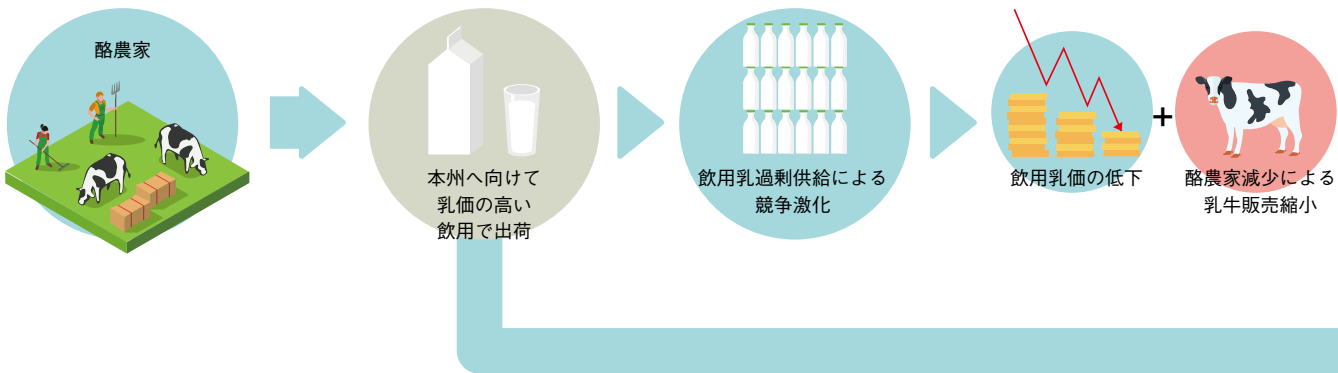


乳製品向け生乳不足による国産乳製品の需要消失

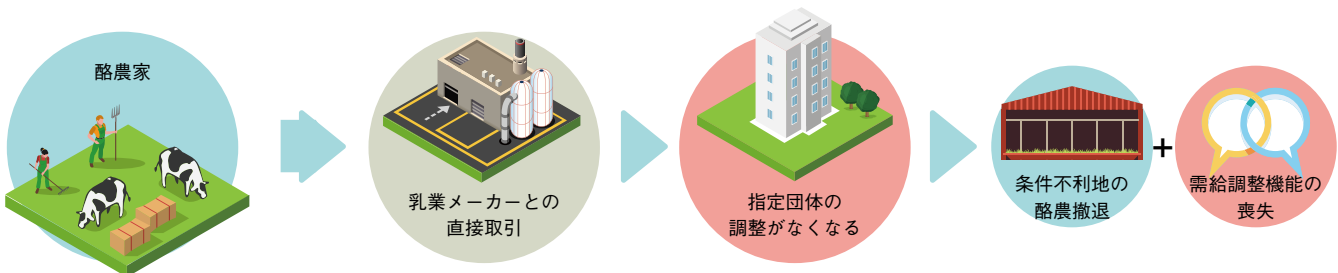


生乳輸送コスト増と災害時等の対応力喪失

生産者から見た指定団体制度廃止による問題点 1



生産者から見た指定団体制度廃止による問題点 2



「特集」制度を考える



北海道農協青年部協議会
副会長 安達永補さん

Profile: 1978年、標津町生まれ。酪農学園大学卒業後、両親の営む「☆Happy Land ☆安達牧場」に就農し、25歳で経営移譲。現在は経産牛65頭を含む119頭を飼養している。根室地区農協青年部連絡協議会会長を経て今年度より現職。酪農を通じて生産者・消費者・地域の「3つの笑顔をつくる」がモットー。中央酪農会議の「酪農教育ファーム」の認証を取得している。

「うちの両親が365日休みなく働いて生産しているのに、消費者には何も伝わっていない。これじゃダメだ、もっと知ってもらおう努力をしないと」

酪農を営む農家の一人っ子として育った安達さん、「本当は酪農を継ぎたくなかった」そうです。転機は大学4年のときに起きた牛乳の集団食中毒事件。テレビの報道で「牛乳はどこでつくられているの?」と問われた子どもたちが「工場」と答えたことに衝撃を受け、地元に戻る決意をしました。

消費者にも生産の現場を知ってほしい

酪農を営む農家の一人っ子として育った安達さん。生産者の代表として要請運動に参加し「指定団体制度の廃止はありえない」と訴えました。「北海道には大手から中小まで乳業メーカーが多数あるんですよ。どうやって調整するつもりなのか、僕には全く想像がつかないです」

安達さんは酪農業の傍ら、消費者との交流活動をスタート。町内の小学生の牧場体験から始め、標津町と協力して修学旅行生の受け入れを開始。仲間を募って10年前に「標津町グリーンツーリズムフレンドズ」を立ち上げました。今年は根釧合同で160人もの修学旅行生を受け入れたほか、現役の教員を対象とした農村ファームステイ事業、教員を目指す学生を招く民泊体験にも取り組んでいます。

「二人でも多くの人に生産の現場を知ってもらいたい、そう思っていています。農業は生産者だけでは守れない。消費者に必要だと思ってもらわなければ、未来はないと思うんです」



乳業メーカーの立場から考える

量・質・価格、3つの安定が担保できなくなるかもしれません。

雪印メグミルク株式会社
酪農部 担当部長 兼 北海道酪農事務所長
若林偉彦さん

酪農家が生産した生乳は、乳業メーカーが製品化しなければ店頭には並びません。今回の指定団体制度の改革案を、乳業メーカー側はどのように捉えているのでしょうか。雪印メグミルク株式会社の北海道酪農事務所、若林さんに見聞を伺いました。



乳業メーカーの需給調整

雪印メグミルクの若林さんに、まず牛乳乳製品がどのようにつくられているのか教えてもらいました。

雪印メグミルクは道内に7工場があり、そのうち飲用乳を製造しているのは札幌工場のみで、残りの6工場（幌延、興部、別海、なかしべつ、大樹、磯分内）ではチーズやバター、脱脂粉乳などの乳製品をつくっているそうです。一方、道外には関東に4、中部に2、関西に3、九州に1と10カ所の工場があり、こちらは飲用・デザート・プロセスチーズなどの工場。地元で集める生乳だけでは量が足りず、北海道から運んでいるといいます。

「道内の生乳はホクレンがまずは飲用乳を優先して道内と道外に配乳し、それ以外を乳製品向けとして各乳業メーカーに配乳します。需給に応じて、日持ちのする脱脂粉乳やバターに加工するなどして、生産者が安心して全量出荷できるように乳業メーカーも対応しています」

ホクレンを窓口にした乳業メーカーが連携

都府県の飲用需要の増加や生産の減少など、大幅な増減が発生した場合、その需給に対応するため、急ぎよ道外移出の生乳で調整します。「当社に道外移出の要請がくると、工

場間で調整などのやりくりはしますが、時には、よつ葉、明治などと協力し生乳を移出することもあります。こうした面倒な調整を二手に引き受けているのがホクレンの生乳受託課。本来ライバルのメーカー同士が連携できるのも、二元集荷多元販売の指定団体制度がうまく機能しているからでしょう」

では、もし指定団体制度が崩れると、どんな不都合が起こるのでしょうか？ 若林さんはこう指摘します。

「どこの工場にどれだけの生乳が入るか分からないと、製造計画がつかれないし、商談もできない。ナショナルブランドの質と量と価格、3つの安定が担保できなくなります」

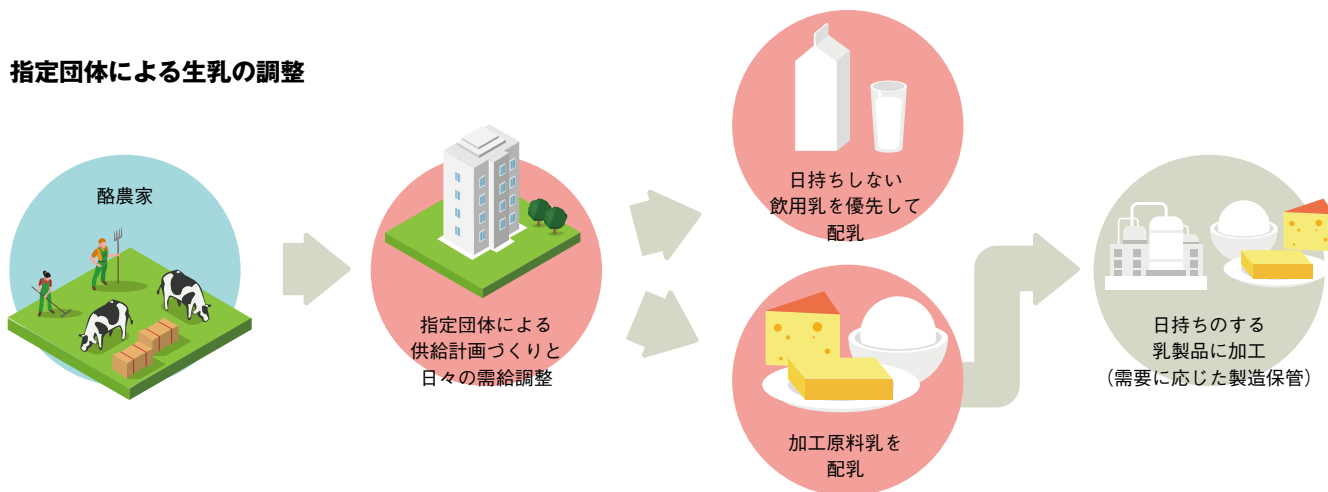
イギリスの事例から見る日本の酪農

最近、道内でも、指定団体を抜けて、乳価の高い飲用向けのみ販売する団体に出荷する酪農家が少しずつ増えてきました。乳業メーカーはこうした団体をどう考えているのでしょうか？

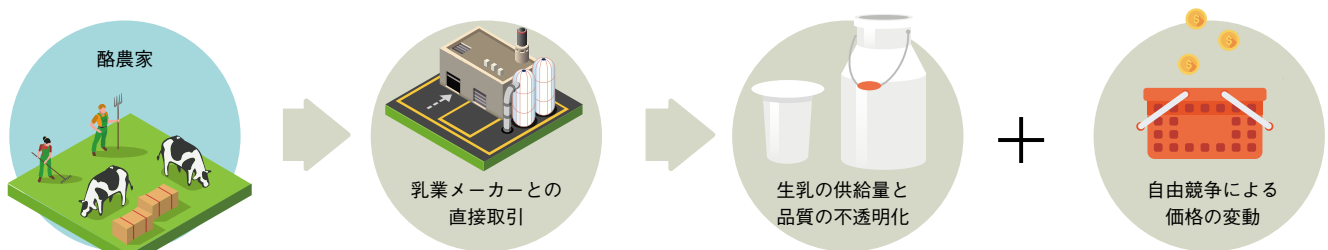
「当社が重要視しているのは『安定的な量』『安心できる乳質』であり、それらを兼ね備えているのがホクレンとの取り引きだと考えています」

また、生乳を卸す団体が複数になれば、競争原理が働き、乳価は下がる方向になりがち。それを補うだけ

指定団体による生乳の調整



乳業メーカーから見た指定団体制度廃止による問題点



+



雪印メグミルク株式会社
酪農部 担当部長 兼 北海道酪農事務所長
若林偉彦さん

「たえばメガファームが自社で10トンのタンクローリーを仕立てて工場まで運んでくれば、歓迎する乳業メーカーがあるかもしれない。でも、それではほかの酪農家の輸送コストが増えて経営が成り立たない。地域が衰退したら、乳業メーカーだって結局、工場をたたまざるを得なくなる」

「だから、若林さんは目先の利益ではなく地域の持続可能性を一番に考えるべきだと感じています。家族経営

の飲用需要が増加することは考えやすく、酪農家に不利益が生じるのではないかと危惧しています。」

「イギリスでは自由競争を促進しようとして20数年前に生産者組織を解体し、入札制度が導入されましたが、その後、乳価は大幅に下落。生産者の組織力も低下して、酪農経営は極めて厳しい状況だと聞きます」

なにより大切なのは、地域の持続可能性

「将来的なブランドデザインを提示せず、指定団体制度の是非を問うような拙速な判断は避けてもらいたい。我々には国内で競争するよりも、海外とどう戦っていくかを考えるべきでしょう。国内と海外の乳製品価格差が広がることで、国内乳製品は消費者の支持を失って安い輸入品に入れ替わる。つまり生乳生産が増えなくても余るようになる。そんな最悪のシナリオだってありうるわけですから」

雪印メグミルクはもともと生産者が出資して組織した企業であり、酪農業とは共栄共存の関係ですが、若林さんは「スムーズな連携には指定団体の存在が欠かせない」と断言しています。

から法人化しているメガファームまで、いろんなタイプの酪農家がバランスよく共存する地域を永続させるためには、どうすればいいのでしょうか。」





牛乳・乳製品の安定供給に 指定団体制度は欠かせません。

北海道大学大学院農学研究院 講師
清水池 義治 先生

指定団体制度の是非をめぐる政府の検討に、生産者も乳業メーカーも困惑しています。必要のない改革が推し進められた場合、どのような事態が予想されるのか。農業経済を専門に研究する北大大学院の清水池先生に伺いました。



北海道大学大学院農学研究院 講師
清水池 義治 先生
Profile : 1979 年生まれ、広島県出身。北海道大学大学院農学研究院後期課程修了、博士（農学）。2006年に雪印乳業（株）酪農総合研究所の非常勤研究員となり、2009年名寄市立大学保健福祉学部講師に転身。同大学准教授を経て2016年より現職。主著に『増補版 生乳流通と乳業』（デーリイマン社、2015年刊）。

●なぜ指定団体を離脱する酪農家が出るのでしょうか？
清水池 酪農はほかの農業形態より投資が大きいので、本来はコンスタントに収入が得られてリスクの小さい共同販売が向いています。指定団体を離れる生産者の中には、少しでも高く売らないと現状を乗り切れない、余裕のないケースもあるのかもしれない。買いエサに依存していて、府県のような高コスト体質に陥っているケースもあるのではないのでしょうか？
●補給金の交付は公平ですか？

清水池 指定団体に出荷しなければ補給金がもらえないのは不公平、だからアウトサイダーに補給金を交付すればイコールフットイング（同等の条件）が確保され、公平であるという理屈ですが、かえって不公平になるのでは、という指摘もあります。指定団体は牛乳乳製品の需給調整に莫大なコストを負担しているからです。
●指定団体が担う役割とは？
清水池 指定団体は牛乳乳製品の安定供給を意識して乳業メーカーへ生乳を配乳します。日持ちしない飲用向けを優先して配乳して、それ以外を乳製品にまわします。生乳が供給過剰になった場合は、指定団体がよつ葉乳業や雪印メグミルクなどと協力し、バターや脱脂粉乳という形で在庫を抱えて需給調整をします。問題なのは、乳価の高い飲用向けのみを販売する団体がこうした需給調整をするのかどうか。生乳が過剰気味でも乳価の安い乳製品向けにまわさず、飲用向けで叩き売りする可能性もある。そうすれば牛乳の値崩れが起きてしまう。つまり、需給調整の機能を果たさず、補給金を受け取るのはかえって不公平ではないか、という意見です。
●もし改革が実施された場合、どのような影響が考えられますか？
清水池 指定団体以外の販売ルートに補給金が出るようになったとしても、ホクレンを離脱する人が増える事態

になるとは思いません。なぜなら飲用向けのみ販売する団体と契約している酪農家は、当然飲用向けに販売しているのに対し、補給金は乳製品向けにしか出ない。つまり直接関係ないからです。

もし乳業工場や港の近い生産地が独立して共販すれば、プール乳価は高くなる可能性があります。その場合、輸送コストが高つく地域の酪農家は取り残されてしまう。また、

“過当競争になり、買いたたかれる恐れもある。果たして日本の農業全体にとっていいことなのか考えればわかるはず”

今まではホクレンからしか買えなかったものが、よそからも買えるとなったら、いずれ過当競争になり、買いたたかれる恐れもある。果たして日本の農業全体にとっていいことなのか、考えればわかるはず。●一時的な乳価だけで判断してはならないということですね。
清水池 乳業メーカーにとっては、必要な量だけ生乳を買う



“消費者に応援してもらえるような関係を築いていく。(指定団体制度をめぐる問題は)酪農に限らず、全ての生産現場にあてはまる話です”

“現状の制度をたたき壊して、競争させればうまくいくという考え方は、ものごとを単純化しすぎ”

というのが一番理想的です。いまは本

州で生乳が足りないから、飲用向け
のみに販売する団体は売れ残りを心
配せずに購入していますが、いづれ
また生乳が余る時期が必ずくるはず。

現状では考えにくいことですが「これ
以上は買えない」と拒否される事態
も想定されます。指定団体の全量委
託とは違い、リスクがあることを忘れ
てはなりません。

●指定団体制度は生産者を守る仕組
みなんです。

清水池 単に生産者の利益を守るた
めの制度のように誤解されていますが、
そもそもこの制度の目的は二つあって、
一つは牛乳・乳製品の安定供給、もう
一つは酪農家の経営支援です。酪農家
の経営が安定しないと安定供給もで
きないので、セットになっています。で
すから、指定団体制度は消費者にとっ
ても価値ある制度だと理解してもら
う必要があるでしょう。

●清水池先生が考える、生乳流通の
ベストな制度とは？

清水池 酪農家が自家製の牛乳や乳
製品をつくって販売したいなら部分委
託できますが、一方で、生産者が加工
会社と組んで自社ブランドの製品をつ
くめることは指定団体制度の中では認
められていません。無条件全量委託
の原則を維持しつつ、生産者の新た
なチャレンジをバックアップできる柔軟
性があると、牛乳乳製品の多様性が
広がるのではないのでしょうか。

●これからの農業者に必要な心構え
を教えてください。

清水池 いま農業改革がさかんに議
論されているのは、就農人口が減り
持続的発展が困難になっているからで
す。とはいえ、現状の制度をたたき
壊して、競争させればうまくいくと
いう考え方は、ものごとを単純化し
すぎだと思えます。指定団体制度に
は、生産者が販売を気にせず生産に
専念できる一方で、生産と消費の関係
が切れてしまうデメリットもあります。
補給金についても、原資は税金ですが
ら、指定団体制度が安定供給に寄与
していることを消費者に理解してもら
わなければなりません。単に値段が
安ければいいという考えだと国内の農
業は持たないと訴え、消費者に応援
してもらえないような関係を築いていく。
酪農に限らず、全ての生産現場にあ
てはまる話です。



ホクレン
マーケット
通信

From Market

国内外の市場で起きている変化や動向を発信します。

個食化に対応した 付加価値商品の開発

畜産販売部ポーク課（食肉加工工場）

家庭で手軽に味わえる
本格的な炭火烧商品



炭火烧豚井の具

「食」のニーズに応えて

現代は少子高齢化や核家族化、共働き家庭の増加で食事の個食化が進み、手軽さや簡便さから加熱済み商品のニーズがより一層高まっています。そのようなニーズに応えるべく、ポーク課は道産食肉の付加価値向上を目指して、本格的な炭火烧商品の開発に力を入れています。

食肉加工工場に炭火烧 専用ラインを増設

2012年に、胆振管内安平町のホクレン食肉加工工場の敷地内に炭

火烧専用ラインを増設。実際に炭火で焼く専用施設は全国的にもあまり例がなく、食品加工機器メーカーに開発を依頼し、安定的な火力を確保するため炭起こし装置や炭焼きボックス、さらには酸化炭素などの吸排気システムを装備した炭火烧施設が完成しました。「特殊な機械なので、炭火の調整はベテラン従業員の熟練した技術が求められます」と食肉加工工場の高橋マネージャーは話します。



畜産販売部ポーク課 中島 剛 課長（写真左）
食肉加工工場 高橋 昭典 マネージャー（写真右）

炭火烧商品の中で現在も安定して売れているのが、「北海道産炭火烧豚井の具」。「家庭でも簡単に食べられる炭火烧豚井」がコンセプトです。本場・十勝の豚井に勝るとも劣らない商品として開発に至るまでの道のりも、決して平たんなものではありませんでした。「肉は焼き過ぎると硬くなるので、いかにおいしく食べてもらえる商品に仕上げるかがとても難しい点でした。最終加熱工程での温度は法律で決められており、制約が多い中で安全でお



お客さまからの声

おいしいのはもちろん、安心も買ってます



セイノスーパーエクスプレス株式会社
複合輸送部通運課 課長 石島 和典さん

ホクレン商品のファンで、自宅用として「炭火焼豚丼の具」やステーキ肉などを購入しています。豚丼の具は子どもたちに人気で、自分で温めて食べてしまうので、私が食べる分が残っていないことがほとんどです。豚肉はやわらかく、おいしいのはもちろんですが、北海道産の食材を使用しているホクレン商品なので安心感もあって購入しています。ただ、一人分として肉の量が少ない点と、ご飯にかけるタレが付いてない点をもう少し工夫してほしいですね。

いしさを追求するために試行錯誤を繰り返しました。豚肉の厚さ、焼き具合、味付け、食べた時の食感、価格設定など、クリアしなければならぬ項目は非常に多かったです」とポーク課の中島課長は振り返ります。

帯広市の豚丼繁盛店の商品は、肉の厚みが5ミリ程度。そこでバイヤーや多くの方に試食をしてもらい、噛みしめた時に肉の旨みとほんのりした炭の香りも味わうことができるように厚



食肉加工工場で炭火焼専用ラインを担当する写真左から 宮本美枝子さん、柴田喜義さん、中野由香さん。

さは8ミリにするなど、肉の厚み一つひとつも検討を重ねました。

また、専用の豚丼のタレを開発したのも、あくなき挑戦の表れでした。下味をつけた豚肉を炭火焼き工場ですべてに焼き上げ、こだわりの本格的な味を実現しました。

販路拡大を目指して

ポーク課では、豚丼の他に炭火焼ソーセージや、炭火焼牛肉丼、焼牛（ローストビーフ）などの牛肉を原料とした炭火焼き商品も開発し、道外の販売先を開拓しています。

現状、炭火焼商品販売の中心はギフトや※頒布会ですが、今後は炭火焼専用ラインを活用した消費者に求められる商品開発を進め、販路の拡大を目指していきます。今後も、付加価値を高めつつ、安全・安心な北海道産食肉の販売に取り組んでいく方針です。

※会費を支払っている会員に向けて、商品や刊行物などを定期的に配る会。



From Fukuoka

今回は、ホクレン福岡支店の取り組みについてご紹介します。

北海道の食材の評価が高く 販売拡大の可能性有り

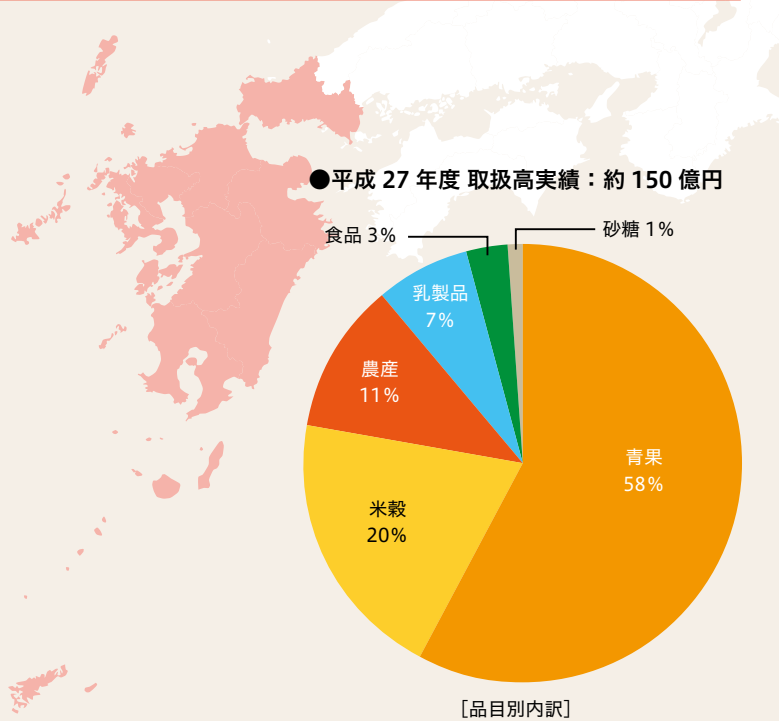
ホクレン福岡支店は、昭和 26 年に門司支所として門司市（現在の北九州市）に開設され、昭和 48 年に福岡市に移転しました。山田支店長のもと業務課と米麦農産課の 2 課、総勢 11 名の少数精鋭部隊で日々奮闘しています。

福岡支店エリアの市場性

管轄エリアは、九州・沖縄県・山口県の 9 県で、圏内人口は約 1,585 万人と全国の約 12.5% を占めています。その中でも九州は「1 割経済圏」といわれ、人口や面積、輸出額など全国に占める割合が 10% に近い数値となっているのが特徴です。

九州では、多彩な農畜産物が生産されており、農業産出額は約 1.7 兆円と北海道の約 1.5 倍の規模があります。そのため、地産地消が当たり前ですが、一方で北海道の食材に対する評価も高いエリアです。

馬鈴しょ・玉ねぎ・南瓜はもちろんのこと、スイートコーンやアスパラガスも好評で、お客さまからは「もっと北海道の食材を提案・供給してほしい」という声を多数いただきます。また秋になると、どのデパートやスーパーでも北海道フェアが開催されます。これは、九州の人達が北海道の食材を求めているなよりの証拠であり、お米や豆も含めてまだまだ販売拡大の余地があるエリアです。



福岡 topics

01 福岡は食の宝庫!



福岡といえば「とんこつラーメン」、「もつ鍋」、「水炊き」を連想しますが、他にもオススメの料理がいっぱいあります。例えば「焼き鳥」店の数は全国の中でも堂々の第一位。また、玄界灘でとれる魚介類も豊富で、年中新鮮でおいしい食材がたくさんあります。

02 忘れてはいけない屋台!



アジアの屋台都市 10 選に選ばれるなど一度来たら必ず寄ってほしい福岡の屋台。ちなみに福岡支店がいつもお世話になっている屋台は「びよん吉」さんで、ラーメンはもちろん全ての料理がおすすめです。

「米産地といえば北海道」という認識が間違いなく沖縄県民に根付いています」と沖縄食糧株式会社の石垣主任は話します。事実、「ゆめぴりか」の認知度は非常に高く、ブランド銘柄の中でもトップの売れ行きとなっています。また「ななつぼし」と「きらら397」を使用したブレンド商品「^{しゅれい}守礼」も県内一の売上を誇るほど人気があり、価格と食味のバランスが良いお米として支持されています。

沖縄食糧で北海道米を取り扱い始めたのは20年以上前。当初は北海道米の知名度は低く、売れ行きは芳しくありませんでした。しかし、産地の生産努力と品種改良により、北海道米に対する評価が向上しました。また、沖縄食糧とホクレンで協力して、試食販売やキャンペーン、CM等、消費者へのアピールを積極的に実施してきました。そのかいもあって今では、北海道米は県内一の売れ筋商品として広く消費者に受け入れられており、沖縄県で流通している米のシェア15%以上を誇っています。

近年、府県産新銘柄の台頭もありますが、北海道米の安定した売場を確保しつつ、今後も沖縄食糧との連携により北海道米の更なる価値向上に取り組んでまいります。



イオン那覇店での北海道米の売場展開

取引先のご紹介

沖縄食糧株式会社

昭和25年7月創業。長年にわたり沖縄県民に安心・安全な美味しいお米を提供し、食の基盤を支えています。県内の米消費量の約半分を扱っており、優れた精米工場の他、亜熱帯の沖縄でも品質を維持できる国内有数の大型低温倉庫も完備しています。

Message

沖縄食糧株式会社
米穀部長 奥間 正 さん



当社は、ホクレンと一体となったブランド戦略を積極的に行っており、現在では「ゆめぴりか」、「^{しゅれい}守礼」ともに主力商品として県民の皆さまに選ばれる商品となりました。

また今年も、モンドセレクション金賞に「ゆめぴりか」と「金芽米守礼」が、銀賞に「^{あいこめ}愛を米守礼」が選ばれ、国際的に北海道米の品質・味などの高さが認められました。今後もキャンペーン・CM展開など更なる販売拡大に向けて取り組みを強化していきたいと思っております。

PRを続け、北海道米の
確固たる地位を沖縄で築く

Close-up
クローズアップ現場力

▶福岡支店編

●今回の現場
沖縄食糧株式会社 さま



福岡支店 米麦農産課

松原 研太 主査 (写真右)

福岡支店の米営業担当として、沖縄を含めた九州全域に北海道米をお届けしています。九州も米どころであり激戦区ですが、北海道米のブランド価値向上に向けて日々頑張っています。

※写真左：沖縄食糧株式会社
米穀部 米穀課 主任 石垣 喜也さん



column **mori ★ repo**

ホクレン大収穫祭 in 銀座三越 実施レポート

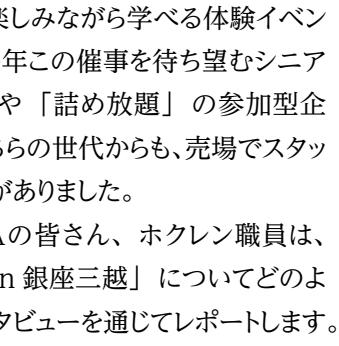
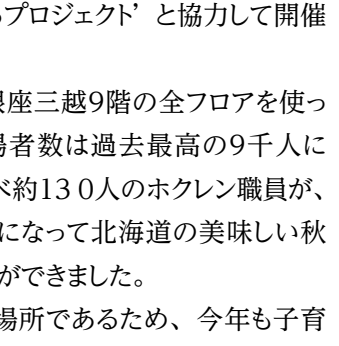
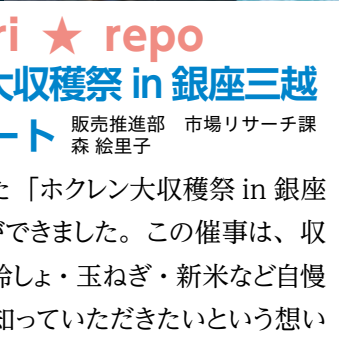
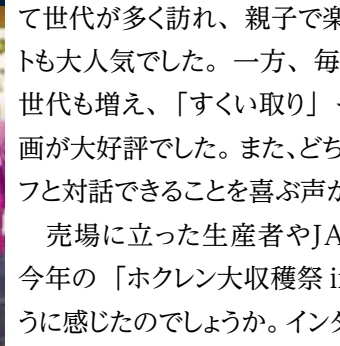
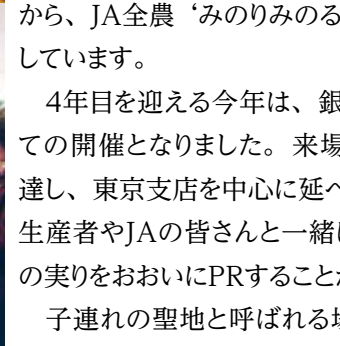
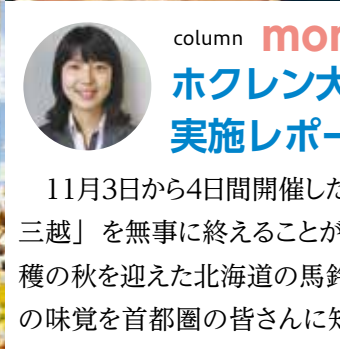
販売推進部 市場リサーチ課
森 絵里子

11月3日から4日間開催した「ホクレン大収穫祭 in 銀座三越」を無事に終えることができました。この催事は、収穫の秋を迎えた北海道の馬鈴しょ・玉ねぎ・新米など自慢の味覚を首都圏の皆さんに知っていただきたいという思いから、JA全農「みのりみのるプロジェクト」と協力して開催しています。

4年目を迎える今年は、銀座三越9階の全フロアを使っ
ての開催となりました。来場者数は過去最高の9千人に
達し、東京支店を中心に延べ約130人のホクレン職員が、
生産者やJAの皆さんと一緒に北海道の美味しい秋
の実りをおおいにPRすることができました。

子連れの聖地と呼ばれる場所であるため、今年も子育て
世代が多く訪れ、親子で楽しみながら学べる体験イベ
ントも大人気でした。一方、毎年この催事を待ち望むシニア
世代も増え、「すくい取り」や「詰め放題」の参加型企
画が大好評でした。また、どちらの世代からも、売場でスタッ
フと対話できることを喜ぶ声がありました。

売場に立った生産者やJAの皆さん、ホクレン職員は、
今年の「ホクレン大収穫祭 in 銀座三越」についてどのよ
うに感じたのでしょうか。インタビューを通じてレポートします。



もっと産地の想いを伝えたい | 北海道農協青年部協議会 会長 渡辺 基樹さん



渡辺会長には、青果物と豆を販売していただきました。その感想は？

もっとごった返しているイメージでしたが、全体的に売場もお客さまも上品な印象を受けました。子連れのお客さまも多く、野菜を真剣に選んでいる姿が印象的でした。売場に立っていると、「台風の影響で北海道のじゃがいもや玉ねぎがないと思っていたけど、あって良かった」という励ましの言葉を多くいただきうれしかったです。

ただお客様からは、「どれが美味しいの？プロの目で選んで」と聞かれることが多く、どのようにこだわって作っているかまで聞かれることはあまりありませんでした。産地側の想いに、より関心を持ってもらえるとうれしいです。売場に立つホクレン職員にも産地側の事情をもっと知ってほしいので、産地に足を運び、いろいろな生産者と直接話してみてください。

J Aが銀座で切磋琢磨しながらPR | J Aびえい 販売部 販売二課 六鹿 舞子さん



2年目の出店となるJAびえいの六鹿さんに、昨年との違いを聞いてみました。

今年はクイズラリーで各JAのブースを回る企画があったため、ブースに立ち寄るお客さまが昨年よりも多いと感じました。またステージで美瑛町の紹介や商品の試食を行った後に買いに来るお客さまもいて、予想以上の売れ行きでした。JAびえいの人気商品はフリーズドライ商品で、その中でも「焼きとうきび」や「ダイスミルク」の売れ行きが良かったです。購入される方はリピーターが多く、商品や産地の認知度も徐々に高まっているように感じました。

今回の催事では、他のJA商品や取り組みにも触れることができ、商品に対するお客さまの反応なども勉強になりました。もっとたくさんのJAに出展してもらえると、更に活気が出て良いと思います。

対話が自然とうまれる、参加型企画 | ホクレン 東京支店 青果課 継枝 智裕



今年は「詰め放題」「すくい取り」企画が大変盛り上がりしました。特に、税込300円の「玉ねぎバケツ詰め放題」は連日大賑わい。青果売場担当が感じたことは？

スーパーで販売している玉ねぎの価格と比べて、「お買い得」と思って挑戦される方が多かったです。バケツに目一杯まで玉ねぎを詰めると、約3kgの重さになりますが、「こんなにいっぱい」と喜ぶ姿が印象的でした。格安で都内近郊に宅配できるサービスを利用される方もいれば、「近から」といって自分で持ち帰る方もいらっしゃいました。

ただ商品を選んで買うだけでなく、「詰め放題」のような企画があると、お客さまとの対話も自然とうまれて良いですね。来年もお客さまが喜ぶような参加型の企画を考えたいと思います。

「ホクレン大収穫祭 in 銀座三越」 実施レポート 来場者のみなさんに聞いてみました！



手づくりバター調理体験の様子



飲料や洋菓子などの加工品売場



ファミリー層のお客さまの声

●全ての体験イベントに参加しましたが、子どもが学べて楽しかったです。お店の人も商品についてわかりやすく教えてくれました。サクッと物だけ買って帰るつもりでしたが、滞在時間も長くなってしまいました。

東京都中央区 40代女性

●お買い物しやすいです。産地の人から直接話を聞けるのが良いと思います。お店の人から「インカのめざめ」について、「収穫すぐよりしばらく置いた方が甘くなる。保存は冷蔵庫でもいい」と教えてもらいました。初めて知ったことで、聞いて良かったです。生産者が一押しものを持ってきているのだと思いました。

東京都中央区 30代女性



シニア層のお客さまの声

●食材がいろいろあって賑わっている感じが楽しいです。お店の人と会話ができるのも楽しいです。他の北海道物産展は売場が広くていろいろあって、見るのが大変なので、今日のイベントぐらいの広さが良いですし、銀座のど真ん中で道産食材が買えるのはすごく良いと思います。

東京都北区 70代女性

●私が来たのは今年で3回目ですが、年々盛り上がってきていて楽しいです。すくい取りの種類が増えたのもうれしいです。ただ買うだけでなく、参加型であるというのが良いと思います。

神奈川県 60代女性

ホクレン大収穫祭 in 銀座三越 でたくさんの対話を通じて生産者の想いを伝えました

今年で4回目となった銀座三越での大収穫祭は、過去3年間の試行錯誤と反省の繰り返しを経ての開催です。生産者やJAの皆さんとホクレン職員が一体になって、首都圏の消費者と楽しくコミュニケーションをとれる場をつくりたいという私たちの思いが、少しずつ浸透しつつあると今回実感しました。

この会場の特徴は、食の安全・安心に最も関心が高まる子育て世代の家族が多く訪れることです。単に商品を販売するだけでなく、イベントを豊富に用意することで、その方々に会場

で長い時間を過ごしていただいています。たくさんの対話を通じて、生産者の皆さんの想いや農畜産物への理解を深めていただくことに挑戦しています。

私事で恐縮ですが、第1回開催時には私のおなかの中にいた娘が2歳になり、その娘が休日と夫と二人で会場に来て、ほかの子育て世代のお客さまと一緒に楽しんでいるのを見ると、もっといい企画を作って喜んでもらおうという気持ちが強くなりました。

(市場リサーチ課 森 絵里子)





▲現地での接客の様子。



▲ゆめぴりか（無洗米）2kg は 285 \$（シンガポールドル）日本円で約 2,100 円（1\$ = 76 円で換算）。



▲とうもろこし 1 本 7.95 \$、日本円で約 600 円。



▲「無洗米」と「北海道の水」のセット販売。

ホクレン
マーケット
通信

From republic of Singapore



Vol.3
シンガポール

無洗米の特徴を活かした提案で
徐々に販売を拡大中



伊藤忠シンガポール会社
喜多 智宏

ホクレンでは道産農畜産物の輸出拡大に向け、昨年からシンガポールと台湾に駐在員を配置しています（伊藤忠商事(株)の現地法人に出自）。今回はシンガポールの喜多智宏より2回目のレポートです。

私は現在、伊藤忠シンガポール会社に籍を置いています。東南アジア全域を活動エリアとしてホクレンおよびホクレン通商の今までの取引先への販売拡大や、伊藤忠と連携した新たな取引先開拓などに取り組んでいます。ホクレンでは、新たに北海道とシンガポール間の定期常温コンテナによる輸送ルート（船便）を確保し、精米やパン粉、小麦粉、道産原料のめん類、

水などの商品を通年で当地の小売店や外食店に向け販売しています。また、夏から秋には青果物輸出にも取り組んでいます。今回は、精米の販売拡大への取り組みを紹介します。東京23区ほどの面積に550万人が暮らすシンガポールは生活用水が自給できず、大半を隣のマレーシアからの輸入に頼っていて、国も節水を呼びかけている状況です。そこで、「無

洗米」と「北海道の水」をセットにする事で、節水効果と米のとき汁を出さないという環境への配慮、そして、何よりおいしいご飯が炊ける食味向上効果を小売店に対して訴えながら販売拡大を図りました。この取り組みで、昨年の駐在開始以降、伊勢丹、明治屋、J-Mart、Fair Price など28店舗で新たに定番商品として扱っていただくなど、販売拡大に結び付きました。

シンガポールは、香港と同じく自由市場で比較的参入しやすく、日本各地からも多くのお米が販売されています。取り組みやすい反面、競争が激しく、生き残るのが厳しい市場でもあります。今回のように、北海道だからできること、特徴を前面に出した取り組みを今後も続けたいと考えています。

植生改善に向けた取り組み



追肥試験実施状況。



除草剤1回処理区。雑草（ギシギシ）が目立つ。



除草剤2回処理区。

近年、当地区の草地においても、更新後間もない圃場への雑草侵入が見られるなど、さまざまな課題を抱えている状況にあります。

そこで草地更新後の植生維持に向けて、JA、普及センターと連携し、現地実証試験を実施しています。

具体的な取り組み内容としては、①牧草種子の混播構成、②除草剤散布回数の差異、③追肥施用時期（1番草収穫後）の遅速、④石灰質資材の施用有無の4項目を試験テーマとして、昨年度から3カ年の計画で実証試験を実施しています。

特に除草剤散布回数については、地下茎型イネ科雑草などの優占圃場

に対しては非選択性グリホサート剤の2回散布が望ましいとされていますが、現状は1回散布が多い状況にあります。そこで、除草剤1回処理区・2回処理区を設定し植生維持効果の確認を行っています。

また、石灰質資材施用の必要性も多くの生産者に認識されていますが、普及率が伸びていない状況です。ことから、あらためて石灰質資材施用（秋散布）の植生維持効果について確認を行っています。

これらの実証試験結果内容をふまえて、管内への普及につながるよう進めていく予定です。

農作業パート確保に向けた新しい取り組み



農作業体験後、参加者へアンケート回答を依頼。



圃場で調理したブロッコリーをその場で試食。



説明を受けながらブロッコリーの収穫体験。

JA 道央 農業パート募集

心満たされる、楽しい職場です

経験から働き方はさまざま。自分に合った働き方では市内内の農業さんのパート生になってみませんか？

お子さんをお持ちの主婦の方や60歳以上のパートさんもたくさんいらっしゃいます。もちろん、仕事は丁寧に行われますので、初めての方でも安心して働けます。

農業が初めての方・定年退職された方・短期集中の方も大歓迎！

どなたでも求められる仕事です。

JA 道央ホームページ お仕事の様子を動画で紹介中
<http://www.ja-douchu.or.jp/recruit/partship>

お申し込み・お問い合わせ先 **JA 道央江別営農センター 営農振興課**
 江別市本町5丁目1番1号 TEL.011-383-4114 担当：大塚・藤原 受付時間 9:00～16:00 月～金
 ご応募先 FAX.011-384-4522 Eメール ja-dowoh@crux.ocn.ne.jp

農業パート募集チラシ。

高齢化等により、どの産業においてもパート労働者の確保が年々難しくなっています。特に石狩管内においては、各産業の求人が集中し競合するため、地域人口が多いにも関わらず、人材が集まりにくい状況になっています。

従来から野菜生産で多くのパートを雇用するJA道央・同JAアグリサポート広域推進協議会（生産者組織）とホクレンでは、都市部の潜在的な働き手を産地に呼び寄せる共同の取り組みを始めました。

自然に目を引く新たな「募集チラシ」や、JAホームページで公開の「農業のお仕事紹介の動画」により作業内容を分かりやすく紹介。これに連動し、江別市内で9月に行われた「農

作業体験会」では、体験希望者11名が生産者のサポートでブロッコリーの収穫を行いました。

作業後は交流会にて、採れたブロッコリーの試食とアンケートやインタビューを実施。「チラシが印象的で分かりやすく、農作業のイメージができた」、「健康維持のためにやってみたかった」、「JAが募集していることで安心感があった」等の声に参加者からあり、今回は最終的に18名の新しいパート確保に結び付けました。

農業の仕事の存在を知らない人や、農作業をやってみたくて考えている人々にどのように働きかけていくか、結果を参考に今後も取り組みを継続していくこととしています。

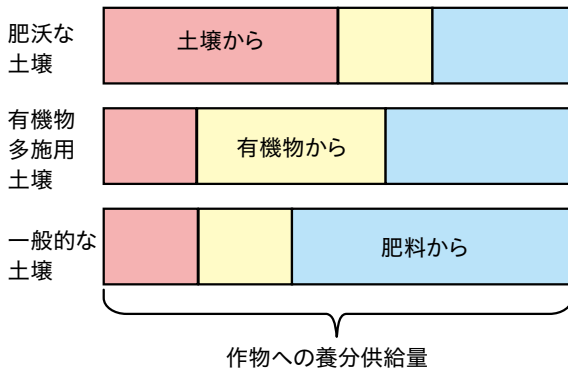
土壌診断による施肥改善

ホクレン | 肥料農薬部 | 技術普及課

POINT!

土壌診断によって圃場の養分状態を知り、圃場に合った肥料を選ぶことで作物の生産性が安定し、肥料コストの低減に役立ちます。

【図1】 養分供給の模式図（北海道施肥ガイド）



土壌診断結果の使い方

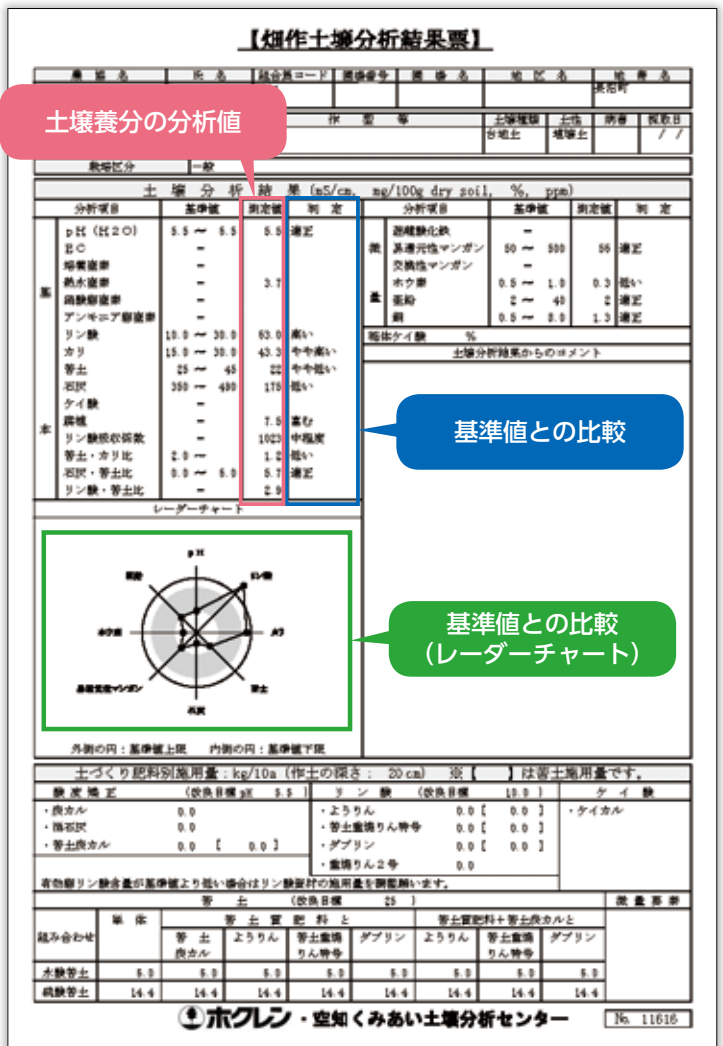
土壌診断は主に農協を通じて受け

土壌診断は適正施肥の第一歩

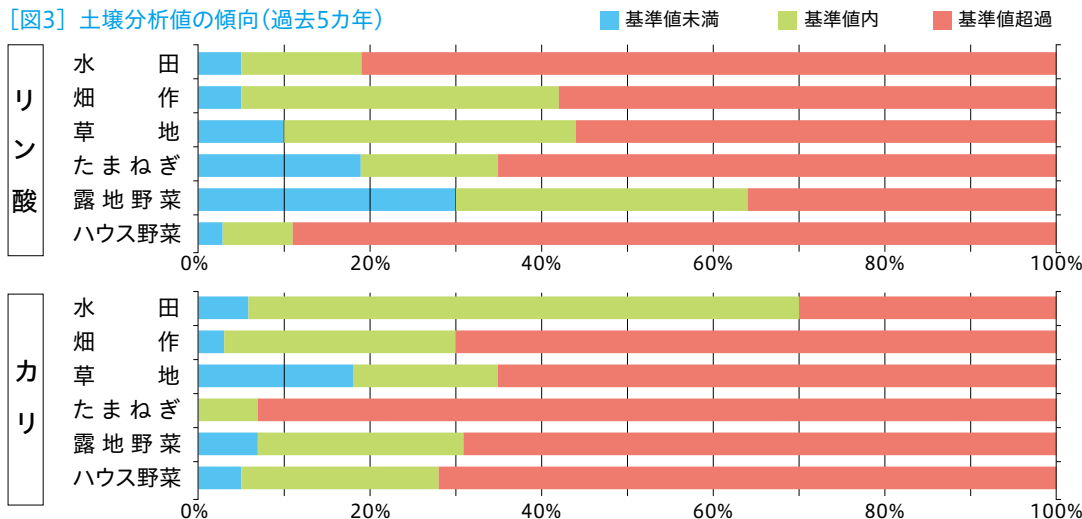
土壌養分や有機物の投入量に合わせて肥料の施用量を決める「適正施肥」は、作物の収量・品質を安定させるとともに、肥料のムダ使いを減らし、肥料コストの低減にも役立ちます【図1】。適正施肥の基本となるのが、圃場の養分状態を把握する「土壌診断」です。

付けており、ホクレンが設置している「くみあい土壌分析センター」や、地域の土壌分析機関で分析されます。ホクレンが提供する診断結果には、各成分の分析値とともに、「北海道施肥ガイド」で定められている土壌診断基準値との比較が示されます【図2】。診断結果を基に、使用する肥料の成分・量を決めたり、必要に応じて炭カル等の土壌改良資材を施用します。土壌の養分状態は個々の圃場によって異なり、土壌の種類や過去の肥培管理によっても大きく変化するので、3〜4年に一度は土壌診断

【図2】 土壌分析結果票の例



[図3] 土壌分析値の傾向(過去5カ年)



を行うのが望ましいです。
土壌養分は蓄積傾向
 収量だけを目標にすると施肥量は
 多くなりがちですが、過剰な施肥は

[図4] 土壌診断を踏まえた施肥改善例

	施肥量 (kg/10a)			
	窒素	リン酸	カリ	苦土
① ばれいしょの施肥標準例(地域・土壌種類・品種により異なる)	8	18	13	4
② 土壌診断結果	基準値	やや高い ×80%	高い ×50%	基準値
③ 土壌診断結果を踏まえた 適正施肥量	8	14.4	6.5	4

食味や品質を低下させるおそれがあります。また、作物が吸収しない余分な養分は肥料のムダになるだけでなく、地下水の硝酸汚染など環境に負荷を与えるおそれがあります。
 くみあい土壌分析センターの分析

④ 土壌診断結果を踏まえた施肥改善		施肥量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)				肥料費 (比)
			窒素	リン酸	カリ	苦土	
慣行銘柄(保証成分%)	BBS883N(8-18-13-5)	100	8	18	13	5	100%
改善銘柄(保証成分%)	BBS100(11-20-10-3)	73	8	14.6	7.3	2.2*	67%

※欠乏が懸念される場合、不足分は苦土肥料で補う

施肥標準量および土壌診断結果を踏まえた適正施肥量の算出方法は作物により異なります。また、肥料費の試算は一例です。詳しくはお近くのJAIにお問い合わせください。

土壌診断による施肥改善の効果

① コスト低減

リン酸やカリが蓄積している圃場では、施肥量を減らしたり、リン酸やカリが低いタイプの肥料に切り替えることで、肥料コストの低減を図ることができます [図4]。また、堆肥や緑肥などの有機物を圃場に投入する場合は、有機物から供給される肥料成分量に応じて減肥することが可能です。

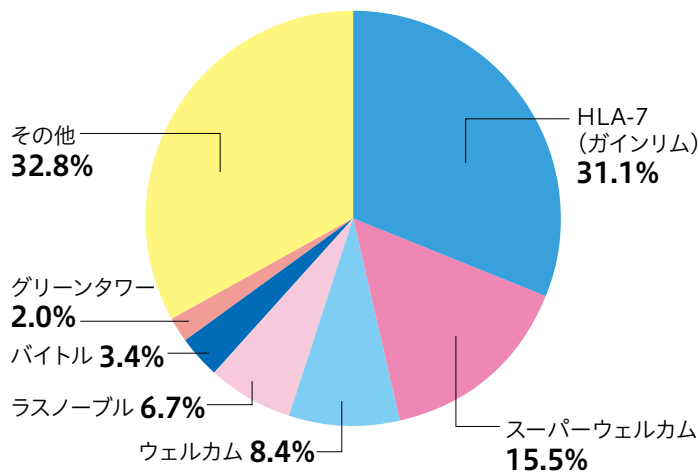
② 生育・収量への影響

ホクレンでは、農協や関係機関と協力し、全道各地区に「施肥防除合理化圃場」を設置し、各地区の実情に合った施肥防除技術の確認試験を行っています。リン酸・カリが蓄積した圃場で、北海道施肥ガイドに基づき減肥試験を継続的に取り組んでおり、リン酸やカリを減肥しても生育や収量に問題ないことが確認されています。

減肥に不安がある場合は、圃場の一部で試し、問題ないことを確認してから範囲を広げることをおすすめします。

アスパラガスの品種動向について

ホクレン | 種苗園芸部 | 種苗課



【図1】品種別作付割合 (平成26年産)

資料: 北海道農政部「平成26年産主要野菜の品種別作付状況調査」(平成28年1月集計概数値)

POINT!

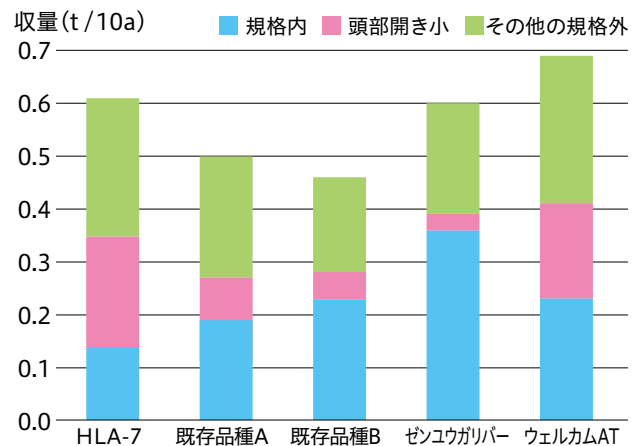
春どり普通栽培や立茎栽培、伏せ込み促成栽培向けの新品種をご紹介します。



「ゼンユウガリバー」

北海道のアスパラガスは露地やハウスで栽培され、作型は春どりの普通栽培や立茎栽培、伏せ込み促成栽培などがあります。露地では耐病性や耐倒伏性に優れる「HLA-7(ガインリム)」が、ハウスでは頭部の締まりが良好で若茎品質に優れる「ウェルカム」が主要な品種です。

品種別の作付は「HLA-7」の割合が高く、次いで「スーパーウェルカム」の作付が伸びています【図1】。近年、「HLA-7」より収量性が期待できる新品種や、伏せ込み促成栽培に適した専用品種が導入されてきていますので紹介します。



【図2】28年アスパラガス品種比較試験における収量調査結果

試験箇所: ホクレン長沼研究農場
定植3日目、収穫期間: 3週間

1. 春どり普通栽培、立茎栽培向け新品種

①「ゼンユウガリバー」

(パイオニアエコサイエンス株)

▼オランダ系の全雄品種。「HLA-7」に比べ若茎は太く、頭部の締まりが非常に良く、品質も優れるため規格内収量が高い。また、側枝の節位が高いため、ハウス立茎栽培にも適する。

▼近年、道内での作付が増加しているが、耐倒伏性および耐病性は「HLA-7」よりやや劣るため、収量性の確保には倒伏防止や徹底防除など適切な管理が重要。



「ウェルカム・AT」

②「ウェルカム・AT（アティカス）」
（株サカタのタネ）

- ▼全雄 F1 品種。若莖は太く揃いも良好。定植後 2 年目から高い大物率が期待できる。
- ▼草勢は強いが側枝の発生はおとなしく管理がしやすい。
- ▼耐倒伏性は「HLA7」よりやや劣るため、収量性の確保には倒伏防止や徹底防除など適切な管理が重要。

2. 伏せ込み促成栽培向け新品種

これまで「ウェルカム」が主に利用されていましたが、「ウェルカム」より休眠が浅く、高収量が期待できる新品種を紹介します。

- ①「太宝早生」太物が多く揃い良好。収量性が高い。全雄品種。
- ②「クリスマス特急」早生で揃い良好。全雄品種。
- ③「ウインデル」早生で初期収量が高い。雌雄混合品種。

（3 品種ともパイオニアエコサイエンス（株））

- ▼「ウェルカム」より早期出荷可能な伏せ込み専用品種。
- ▼10月下旬の株堀上げ・伏せ込みにより11月に出荷可能。需要の



「太宝早生」

高い年末に安定した収量が得られる。

- ▼これら品種の組み合わせで長期間の安定出荷が可能。

なお、ホクレン農業総合研究所では北海道に適した品種の選定を目的に、平成26年より品種比較試験を実施しています。本試験での品種特性の把握により品種選択の幅が広がり、北海道産アスパラガスの高品質・安定生産につなげたいと考えております。

種苗のご購入に関するお問い合わせはお近くのJAまで、品種の特性に関するお問い合わせは、ホクレン種苗課（☎011-232-6222）までお願いします。

でん粉原料用馬鈴しょ新品种「コナヒメ」 (品種登録出願中)

ホクレン | 農業総合研究所 | 作物生産研究室 畑作物開発課

POINT!

**早掘適性と
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を
“合わせ” 持つ多収品種!**

1. はじめに

近年、北海道では、ジャガイモシストセンチュウ発生地域が拡大し、馬鈴しょ生産の永続性が懸念されています。しかし、現在作付されている馬鈴しょ品種の多くがジャガイモシストセンチュウに抵抗性がなく(感受性)、でん粉原料用として最も多く栽培されている「コナフブキ」も例外ではありません。そのため、こうした品種に置き換わる抵抗性品種の開発と普及が重要な課題となっています。



地上部の様子 (左: コナヒメ、右: コナフブキ)



塊茎の様子

[表 1] 「コナヒメ^{※1}」の生育および収量成績

試験実施場所 および年次	品種名	枯ちよう期 (月/日)	上いも 平均重(g)	上いも収量 (kg/10a)	でん粉価 (%)	でん粉収量 ^{※3} (kg/10a)	同左 コナフブキ比 (%)	褐色心腐 (%)	中心空洞 (%)
ホクレン恵庭研究農場 (平成22~27年)	コナヒメ	9/29~未達 ^{※2}	98	4,953	21.7	1,024	123	40.6	3.4
	コナフブキ	10/3	90	3,894	22.4	835	100	11.4	2.2
道総研北見農試 (平成25~27年)	コナヒメ	10/9	103	5,465	20.5	1,066	105	12.6	0.0
	コナフブキ	10/8	111	4,908	21.9	1,026	100	0.4	0.4
道総研十勝農試 (平成25~27年)	コナヒメ	9/13	76	4,370	19.7	819	99	13.4	0.0
	コナフブキ	9/19	85	4,171	20.7	827	100	2.2	0.0

※1 「コナヒメ」は旧系統名「HP07」

※2 「未達」は、収穫時に枯凋していなかったことを意味する。

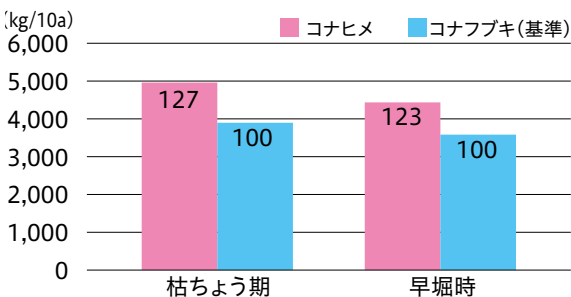
※3 でん粉収量は、上いも収量 × (でん粉価 - 1) で算出した。

[表 2] 「コナヒメ」の早掘^{※1} 収量成績
(ホクレン恵庭研究農場 平成23~27年)

※1 各試験年において、9月1日~3日に収穫した。
※2 でん粉収量は、上いも収量×(でん粉価-1)で算出した。

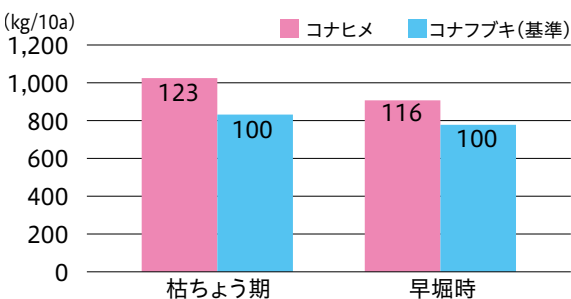
品種名	上いも収量 (kg/10a)	でん粉価 (%)	でん粉収量 ^{※2} (kg/10a)	同左コナフブキ比 (%)
コナヒメ	4,439	21.4	907	117
コナフブキ	3,595	22.7	780	100

[図 1] 「コナヒメ」の上いも収量



注：1) ホクレン恵庭研究農場での平均(枯ちよう期 平成22~27年)
(早掘時 平成23~27年)
2) 「上いも」は20g以上のいものこと。

[図 2] 「コナヒメ」のでん粉収量



注：ホクレン恵庭研究農場での平均
(枯ちよう期 平成22~27年)(早掘時 平成23~27年)

2. 「コナヒメ」の特性

① 形態的な特性

「コナフブキ」と比較すると、茎長

ホクレン恵庭研究農場では、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、高品質で収量性に優れたでん粉原料用品種を育成するため、平成15年から「コナフブキ」と他の系統との交配、選抜などを行いました。そして、新たに育成された品種が「コナヒメ」です。平成28年に北海道優良品種の認定を受けたばかりですが、生産現場の緊急性に応えるため平成26年に品種登録を出願しており、平成29年から一般栽培が開始される予定です。

空洞の発生は同程度となっています。

は低く、草性はやや直立です。花の色は「白」で、花数は「中」となっています。また、開花後の結実果数はかなり少ない「微」で、塊莖の形は「短卵形」、肉色は「白」となっています。

② 収量や生態的な特性

「コナフブキ」と比較すると、枯ちよう期は同程度の「中晩生」です。収量は多く「図1」、でん粉価はやや低いです。でん粉収量は多くなります「図2」。

また、枯ちよう期だけでなく、約1カ月早い9月初めの早掘試験でも「コナフブキ」を上回る収量が得られています。なお、褐色心腐の発生は「コナフブキ」より多いですが、中心

③ 病害虫抵抗性

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持っています。疫病の抵抗性は「強」で、塊莖腐敗抵抗性は「やや強」です。ジャガイモそうか病抵抗性およびYウイルス病抵抗性は「弱」となっています。

④ でん粉品質特性

でん粉の灰分は「コナフブキ」より低く、白度は「コナフブキ」および「紅丸」より低い傾向がありますが、実製造ラインによる製造試験や加工ユーザーによる品質評価において、平成27年度の試験では問題がないことを確認しております。平成28年度も引き続き同様の試験を実施しております。

3. 適地および栽培上の留意点

道内のでん粉原料用馬鈴しよ栽培地帯での作付に適しています。早掘適性があるので、秋播き小麦の前作として作付できます。

疫病抵抗性を持っていますが、夏疫病には感受性(抵抗性がない)であるため、殺菌剤の散布は必要です。また、「コナフブキ」と異なりYウイルス病に感受性であることから、種いも栽培時の抜き取りには注意が必要です。なお、ウイルス罹病時には明確なモザイク症状を示します。褐色心腐の発生が多いため、でん粉原料用以外への用途転用には向きません。

(畑作物開発課 守屋明博)

耕地図への書き込みから始まる経営管理

今年の収穫も終わり、次年度の経営について思いをめぐらす時期だと思えます。そこで、経営管理面でまず知ってほしいポイントについて、北海道農政部技術普及課 農業研究本部技術普及室 藤田上席普及指導員にお話を伺いました。



一口に経営管理といっても、ばくぜんとして具体的には想像しにくいですが、どこから手を付けたらいいか考えてしまうと思います。そこで、私が以前、上川地区の水稲生産者に提案したことをお話しします。

当たり前のことを面倒がらずに実施することが重要

私が当時担当していたA町の水稲生産者を、その収量から上位、中位、下位の3グループに分け、栽培履歴等をもとにそれぞれの特徴を調べました。すると、上位と下位では栽培方法などに違いがあることがわかりました。

具体的には、高収量の方は圃場間の収量差が少なく、どの圃場も安定してとれていましたが、低収量の方は育苗日数が長くなって苗質が不良だったり、側条施肥率が低くて初期生育が良くなかったり、適正な水管理がなされていないなどの他、土壌条件が違っていても施肥量がほぼ一律だったという特徴がありました。収量を安定させるには、圃場ごとに何が原因かはつきりさせ、それを改善することによって、圃場間の収量差を小さくすることが大切だと感じます。

圃場ごとの管理というと、当たりの前のごで今さらという感じだと思えます。しかし、言葉でわかっている、実際にそれを実行している方はかなり少ないのではないのでしょうか。

圃場台帳（記入例）

圃場番号	面積 (a)	品種	全層窒素量	側条窒素量	合計窒素量	共済単収	目標単収	蛋白値 (%)	改善点	次年度の対応
1	54	ゆめぴりか	4.0	4.0	8.0	600	570	7.6	高蛋白 7.4% 以下	全層減肥 4.0 → 3.5kg
4	40	ゆめぴりか	4.0	4.0	8.0	585	570	6.8		
7	45	ななつぼし	4.8	4.0	8.8	590	600	7.2	倒伏	全層減肥 4.8 → 4.0kg
10	43	ななつぼし	4.2	4.0	8.2	600	600	6.8		
13	56	きらら397	5.0	4.0	9.0	615	600	7.5	いもち病	粒剤散布



北海道農政部 技術普及課
農業研究本部技術普及室
上席普及指導員 藤田 雅久さん

● Profile

青年海外協力隊（ポリビア）を経て、平成4年より普及指導員として留萌、上川、空知等の農業改良普及センターで活動。主に水稻の収量・品質向上に向けた技術改善に取り組む。現在は、関係機関・普及センターと、地域が直面する課題解決に向け研究職員と連携し活動している。

頭の中だけでなく「見える化」
することで情報を共有する

施肥を例にすると、春作業時に、計画どおりに（圃場ごと）肥料が散布されているか、ムラはないか確認するのは手間がかかります。忙しい時なので避けたいものです。でもそれが収益につながるのですから、私は「めんどろくさい」は金儲けには禁句ですとお話していました。

圃場ごとの管理の取り組みを始める際、私が提案したのは（共済の）耕地図への書き込みでした。皆さんの頭の中にはもちろん圃場ごとの出来、不出来など入っていると思います。でも、それを記録し「見える化」することで、大切さを理解してほしいのです。ポイントとは、耕地図を軽トラなどに入れていつも持ち歩き、倒伏した部分やいもち病などの発生、小出来、大出来、切土や盛土などを気づいた時に都度メモすることです。

まず、耕地図への書き込み、そこから始めてはいいかがでしょうか。ここで、目標と実際との差がわかり、次年度に向けた対策が立てられます。また、記録することで、経営者だけでなく家族全員で情報を共有でき、圃場ごとの管理ができるのです。もちろん、最初からここまででは難しいと思います。一筆ごとでなく、いくつかのグループに分けても良いですし、耕地図への書き込みだけでもかまいません。とにかく、圃場ごとに管理する意識づけができれば、全体の経営改善につながっていくと思います。実際に圃場ごとの管理を実践した方は、収量が安定し継続して高収量をあげていました。



いもち病



倒伏

耕地図への記入例

水田面積細目書				耕地図	
耕地番号	面積		耕地番号	面積	
	。	。		。	。
54	10	6	26		
55	39	5	27		
56	39	9	28		
57	44	8	29		
58	46	2	30		
59	42	1	31		
60	36	4	32		
61	36	0	33		
62	37	0	34		
63	37	3	35		
64	36	5	36		
			37		
			38		
			39		
			40		
16			41		
17			42		
18			43		
19			44		
20			45		
21			46		
22			47		
23			48		
24			49		
25			50		
計	406	3	計		

(実測年度)

1. 耕地図には耕作している耕地の全部について、もれなく記入する。
2. 耕地図には、方位（N）道路名、隣接家名、河川等、目印になるものをつけて記入する。
3. 墨のボールペン又は黒インクで記入する。

区名 14 氏名 477 印

New agrochemicals

クサビフロアブル

水稲用新規除草剤

※SU抵抗性雑草とは

スルホニルウレア（以下SUと略）系除草剤に抵抗性を持つ雑草のことを指します。現在の一発除草剤には、SU抵抗性雑草にも効果を示す有効成分が含まれています。

水田にはさまざまな種類の雑草が発生するため、一発除草剤には幅広い草種に対する効果が求められます。

現在、生産現場で問題となっている草種はノビエに加え、SU抵抗性雑草※であるホタルイやミズアオイ、オモダカなどが挙げられます。

これらの草種に対して高い効果が期待でき、平成29年より新発売される「クサビフロアブル」をご紹介します。



ノビエ



ホタルイ



ミズアオイ



オモダカ

■クサビフロアブルの概要

(1) 有効成分

成分名	含有量
フェノキサスルホン	2.7%
ベンゾピシクロン	3.6%
ベンゾフェナップ	21.8%

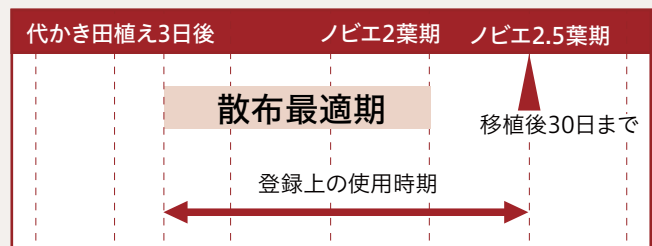
(2) 特長

- 広葉雑草に効果の高い成分（ベンゾフェナップ）を既存剤よりも **50% 増量**しており、オモダカやミズアオイが多発する水田でも安定した効果が期待できます。
- ヒエに対して残効性に優れる成分（フェノキサスルホン）が入っているため、ノビエの発生を長期間抑制します。
- 3つの成分を含有しているため、いずれの草種に対しても安定した効果を発揮するオススメの初中期一発剤です。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量 (10a当り)	使用方法	総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及びマツパイ、ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、オモダカ、エゾノサヤヌカグサ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	500ml	原液湛水散布	本剤：1回 フェノキサスルホン剤：2回 ベンゾピシクロン剤：2回 ベンゾフェナップ剤：2回

(3) 上手な使い方

- 使用最適期：移植後3日～ノビエ2葉期
- 薬剤は均一に散布し、まきむら、重複散布にならないよう注意しましょう。
- 散布方法や風向等に注意し、薬剤が近接圃場や用排水路へ飛散、流入しないように注意しましょう。
- その他、ラベルの注意事項に基づき使用しましょう。



■ゾーベック® エニケード® の概要

(1) 有効成分

オキサチアピプロリン 10.2% (新規系統)

(2) 特長

- 優れた防除効果：疫病菌に対する活性が高く、また疫病菌の生活環のさまざまなステージに作用するため、安定した高い効果を示します。
- 優れた上方移行性：散布時に展開している葉や未展開の新葉にも有効成分が移行します。
- 優れた葉面浸透性：葉の表面に付着した有効成分が葉裏まで浸透し、葉裏に対しても効果を示します。
- 優れた耐雨性：散布後、有効成分の大部分は葉のワックス層に素早く吸収されます。

【適用病害と使用方法（抜粋）】

作物名	適用病害	希釈倍数	散布水量 (/10a)	使用時期	使用方法	本剤の使用回数
ばれいしょ	疫病	5000倍	100~300L	収穫 7日前まで	散布	2回以内

(3) 使用上のポイント

- 疫病の初期感染を抑え、病徴の進展を防ぐため、開花前など疫病防除の前半に予防的に使用してください。
- 本剤を散布後、7~10日後に異なる系統の疫病剤を散布してください。

なお、本剤の耐性菌の発現を防ぐため、上記使用方法を徹底願います。



デュポン™
ゾーベック® エニケード®

ばれいしょ用新規疫病剤

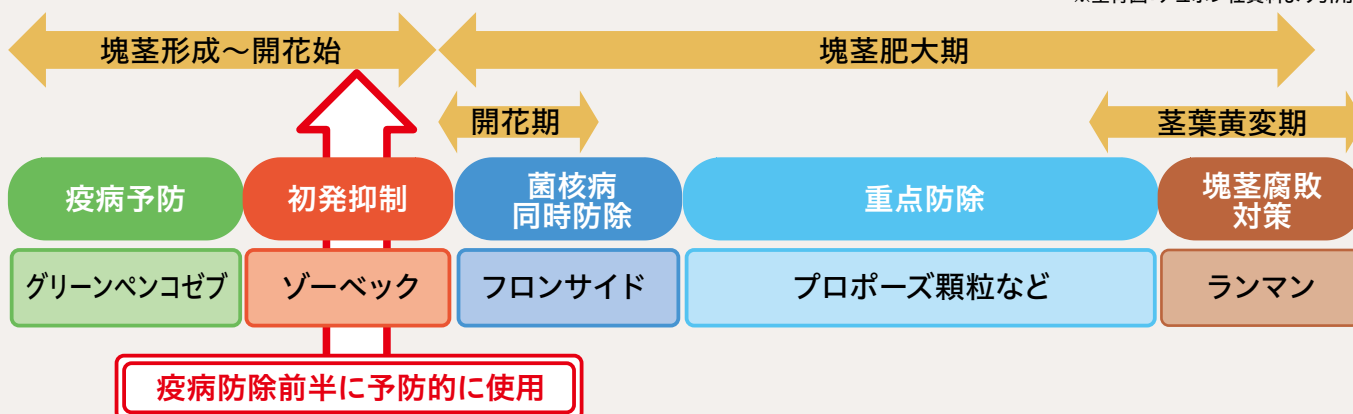
ばれいしょ疫病は、道内の栽培地で最も発生が多く見られる病害で、病原菌の活動に最適な条件(平均気温が18~20℃、降雨による多湿)で急速にまん延することから、防除を欠かせない重要な病害のひとつです。

新規疫病剤「ゾーベック® エニケード®」は、ばれいしょ疫病菌に対して今までにない新しい作用機構を持ち、低薬量で高い防除効果を示す殺菌剤です。

■防除体系（例）



※生育図：デュポン社資料より引用



系統生産資材を安心して 使用していただくために

各種災害共助・ 見舞金制度ご紹介

近年、北海道においても過去に例のないような自然災害が発生しています。

このようななかで、生産者の皆さんに安心して資材を使用していただけるよう、系統では各種の災害共助制度・見舞金制度を創設しています。

過去から継続して実施している肥料・農薬の災害共助制度に加え、本年9月より新たに「系統銘柄ハウスビニール災害見舞金制度」を創設しました。

今回はこれらの制度について、ご紹介いたします。



S Support Projects

1. 肥料・農薬の災害共助制度

風水害などの不慮の災害から組合員の皆さんの経営を守るため、ホクレンから供給した肥料、農薬が保管中に風水害等により被害を受けた場合、その損害の最大70%まで補填する制度です。

- (1) 対象災害：風水害等
- (2) 対象品目：ホクレンからJAを通じて購入した肥料・農薬

2. 系統銘柄ハウスビニール災害見舞金制度

(平成28年9月創設)

当制度は、製造元の出荷日から1年以内に、ホクレンからJAを通じて購入したクリンテートシリーズ・JAノービシリーズの天井ビニールが自然災害により被害を受けた場合や、災害の緊急回避を目的とし、切損した場合などに、見舞金を生産者の皆さんにお支払いする制度です。

- (1) 制度開始日（出荷対象）
平成28年9月1日以降出荷分より
 - (2) 担保危険範囲
 - ①雪害・風災・ひょう災・火災・水害による破損
 - ②台風などの風害からハウスの鉄骨を守るための緊急回避を目的とした切損
 - ③盗難
- ※鳥獣や農機具による破損、保管中の熱融着、その他善良な管理者として責を怠った場合は対象外といたします。

(3) 対象品目

- クリンテートシリーズ
クリンテート DX・クリンテート FX・クリンテート FXUV・クリンテート EX・クリンテート EXUV・クリンテート GM・クリンテート SK・クリンテート SN・クリンテート CE・調光[®]
- JAノービシリーズ
ハイヒット21・ライトセンサー N-10
上記シリーズにて新たな商品ができた場合も対象といたします。

(4) 対象期間

上記品目について、製造・加工元出荷日から1年以内の製品が対象となります。

(5) 支出金額

損害の内容に応じて、購入金額の一部を見舞金としてJAを通じお支払いいたします。ただし、一棟につき50,000円を上限といたします。
※張替費用、裏面、側面、内張りビニールは対象外といたします。

お問い合わせ先

各JA資材店舗までお問い合わせ下さい。

ICT 情報

水田センサで見える化に取り組む

水位や温度を見える化し 水田の見回りを省力化

今やいろいろなモノがインターネットにつながる時代です。その技術を活用したセンサを設置することで、水田の水位、水温、気温等といった情報がいつでもどこでも確認可能となり、圃場の見回りの省力化や栽培管理に活用できます。

水田センサ (Paddy Watch) は、水田の環境情報をスマートフォンで監視する仕組みで、①水位、②水温、③気温、④湿度を把握できます。また、同製品のサービスでは72時間の天気予測の情報も提供しています。

全農では水田センサの実証を実施中

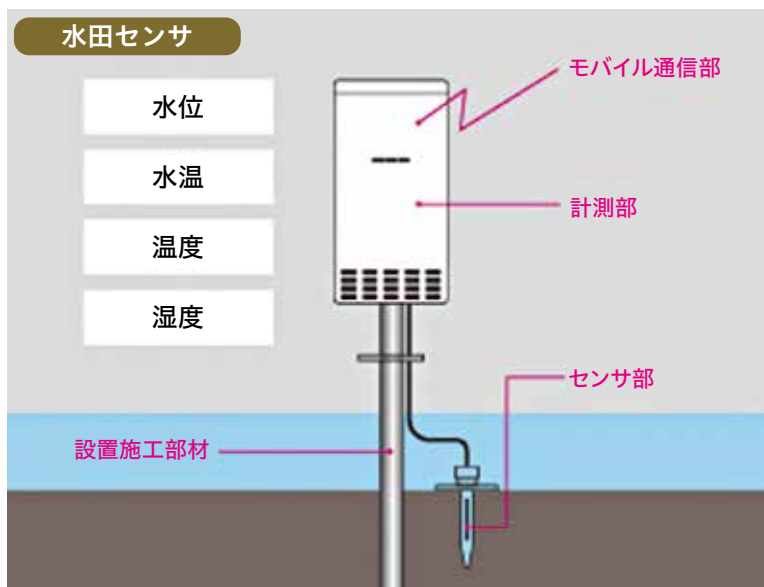
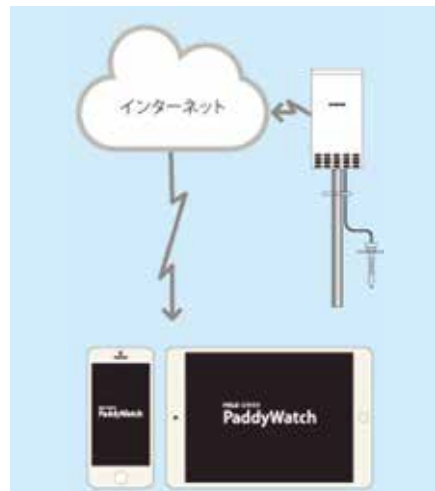
全農では、平成28年4月より各県の生産者や経済連と協力して水田センサ (Paddy Watch) を設置し圃場管理の実証試験を実施しています。

秋田県の生産法人では、水持ちの良い圃場と悪い圃場にそれぞれ設置し、生産者がアプリ上で圃場情報を日々チェックしています。水田センサで収集した過去のデータを振り返ると、見回りした際の目視による水位と、センサのデータにおける水位変化はほぼ一致していました。また圃場により水の抜け方に特徴があることがわかり、それを数値

■水田センサ概要図



*水田の情報をインターネット上に保管。どこでも情報をみることができる。



Paddy Watch (パディウォッチ) ホームページより。

として把握できたことが良かったと評価していました。また、水田センサにより圃場の特性を把握することで、入水のタイミングの傾向をつかめるとのことでした。

この水田センサは、道内でもJA新すながわとJAたいせつの2カ所の圃場で6月から実証試験を行いました。道内の生産者の声では、遠

隔地でも環境が確認できたことや天気予測が便利だったことなどがあげられ、次年度も継続して検討することになっています。



T echnology

前号の読者アンケートでは皆さんからたくさんの声が寄せられました。このページでは毎号「読者の声」として掲載いたします。

あの人の VIEW POINT

■ 大原ノリ子会長に賛成します。「農業の土台を担うのは女性だと思っています。作物を慈しみ育てるには母性が必要」素晴らしいことばです。(札幌市・男性)

特集「達人に学ぶ」

■ 「達人に学ぶ」というコーナーは特に勉強になりました。(豊富町・男性)

■ 今回の特集はとても良かったです。色々な場所のオーナーさんの雰囲気もわかり面白く読みました。(別海町・女性)

■ 特集による先輩方の言葉はとても勉強になりました。(倶知安町・女性)

■ 面白かったです。生産者の方のお話もとても興味深く拝読させていただきました。やる気につながります。(鹿追町・女性)

■ 色々な生産者の思いを知ることができ良い刺激をもらえました。ありがとうございます。(長沼町・男性)

■ 営農内容は違っても他の人の話は興味があります。これからも北海道で頑

張る農業者を紹介してください。(訓子府町・女性)

マーケット通信

■ ホクレン大阪支店の記事、楽しく拝見しました。(音更町・女性)

■ ホクレンマーケット通信の「海外駐在員ればーと」が好きです。外国の食の事情から土地柄やらわかって小旅行した気分になれます。(新十津川町・女性)

■ 台湾では「薬食同源」が根付いていることに驚いた。(士別市・男性)

ホクレン野菜類・花き品種展示会

■ 人参の新しい、珍しい品種に驚きました。(岩見沢市・女性)

■ ホクレン長沼研究農場に行ってみました!(初山別村・女性)

その他のご意見

■ 冬期間のフリーバーンでの分娩直後の仔牛の寒冷対策に悩んでいましたが、カーフウォーマーがあることを本誌で知りました。(上富良野町・女性)

■ 「北海道スマート農業フェア」に行こうと思う。最新の技術や今後の動向を知りたいと思います。

(千歳市・女性)

■ カラーページがたくさんで見やすいです。作業着のプレゼント、もっとたくさん的人数当選だと嬉しいです。

(美幌町・女性)

■ いつも表紙のファッションの可愛さに「いいなあ」と思いながら読んでいます。農業に可愛い!というファッション性を取り入れるのってなんだかワクワクします。だから自分が農業をするときはお洒落にわざと気を使って農業を輝かせるつもりです!

(江別市・女性)

■ カラーの表紙でとてもおしゃれな感じ。つい手に取りたくなるかも。

(津別町・女性)

■ 写真がいつもキレイです。これからもステキな写真をお願いします。楽しみにしています。

(新十津川町・女性)

あなたのご自慢の「営農技術ここがポイント」からご紹介

コミュニケーション

■ 常に話し合い、ミーティング。(豊富町・女性)

■ 家族内の密な情報交換。(倶知安町・女性)

しっかり愛情をかける

■ 話しかけながら仕事を。顔を見る～軽種馬。(日高町・女性)

■ 愛情をかけることですね～酪畜。(森町・女性)

■ 牛たちに朝・夕の作業時に1頭1頭

に声をかけること。(上富良野町・女性)

ハイテンションで!

■ 気分が上がる曲を聴いてテンションupしてから作業する!メリハリがつきやすい。(岩見沢市・女性)

■ 派手な作業着で畑へ行く。農作業事故防止と自分自身のテンションup!(美幌町・女性)

その他の私の営農技術

■ 無理をしすぎない!(深川市・女性)

■ 適期を逃さないこと。(岩見沢市・女性)

■ なんでも記録する。新しい品種を少し必ず植えてみる。(音更町・男性)

■ やはり、繁殖の充実がポイント!(幕別町・女性)

■ 人から得た情報を自分なりにアレンジを加えて経営に生かしてみる。(網走市・男性)

■ 整理・整頓を心がけると無駄な資材などの購入がなくなり費用が少し抑えられます。(富良野市・女性)

present

読者プレゼント

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼントを差し上げます。裏表紙の記入欄に必要事項をご記入の上、FAX またはパソコン・スマートフォンでお送りください。

応募締め切り：2017年1月20日（金） ※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



A. 北海道産 炭火烧豚丼セット

100g × 6P 冷凍 10名様

本誌でもご紹介した北海道産炭火烧豚丼をセットでプレゼント。厚切りにした北海道産の豚ロースを、メーカーと共同開発した秘伝のたれに漬け、道産炭火で丹念に焼き上げています。炭の香る本格的な厚切りの豚丼を、簡単調理でご家庭にてお楽しみいただけます。



B. 表紙コーディネート作業着

..... 6名様

表紙で使用された作業着の帽子、ダウン、フリース、ネックウォーマーのコーディネートをセットでプレゼントいたします。サイズは女性用S・M・L各2名となります。応募用紙または応募フォームにご希望のサイズをご記入ください。

「農業なんでも川柳」を募集します

日ごろの農作業や暮らしの中で、農業にかかわることなら、なんでも川柳してお寄せください。注目作品は、このコーナーにて紹介。作品が紹介された方には粗品を進呈します。皆さんのご応募をお待ちしております。

（作品例）
もういいかい
畑の雪と
にらめっこ
雪どけや
目覚めた麦は
成長期

●編集部より

編集部では、さまざまなご意見、ご要望、厳しいご指摘も含め誌面に反映させていきたいと思っております。ぜひ、あなたのご意見をお聞かせください。

From Editor's Room 編集部より

新しくなった「アグリポート」も4号目となりました。創刊以来、読者アンケートにも多くの声をいただきうれしく思っています。毎号、どんな誌面にするか皆であれこれ悩みながら作っていますが、面白かった、良かったという声には元気づけられます。また、皆さんからお寄せいただいた「営農技術」がポイント」は、どれもポリシーあふれる内容で感心しています。編集部も誌面づくりはまだまだ模索が続いていますので、皆さんの声が頼りです。いろいろな意見をお寄せください。

さて、毎号、読者プレゼントを実施していますが、コーディネート作業着に応募される方が多く、ファッショナブルな「作業着」に対する関心が高いのに驚いています。今後の誌面に取り上げることも検討中です。

また、生産資材情報誌「めぐみ」が10月で発刊終了となりました。これからは「アグリポート」に生産資材関連の情報もさらに充実して盛り込みお届けしていきたいと思っております。なお、次号の特集では、「農業機械」をテーマに取り上げます。ICTなどの最新情報も合わせて紹介する予定です。どうぞお楽しみに。（T・A）

ホクレンアグリポートVol.4
編集 農業協同組合連合会

農業総合研究所 営農支援センター
営農支援推進課内アグリポート編集部

読者アンケートのお願い **皆さんのお役に立つ誌面づくりのために、ぜひあなたの声をお寄せください。**

※お送りいただいたご意見は「Voice 読者の皆さんからの声」コーナーに掲載させていただく他、誌面づくりに反映させていただきます。

プレゼントのご応募・ご意見は FAX かパソコン・スマートフォンで 応募締め切り:2017年1月20日(金)

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

FAX ご応募先 0123-88-3200 | **パソコン・スマートフォンご応募先** <https://jp.surveymonkey.com/r/TG2TR9S>

ご応募は
こちらから



[プレゼント応募記入欄] 下記の内容をご記入ください。

お名前	ご職業
性別：男・女 年齢 歳	1.生産者 2.系統職員 3.その他 ()
ご住所 〒 -	ご職業で「生産者」とお答えの方の営農形態は? ※該当するもの全てに○をつけてください。 1.稲作 2.畑作 3.園芸 4.酪畜 5.その他 ()
お電話番号	ご希望のプレゼント ※AかBどちらかに○印をご記入ください A 北海道産 炭火焼豚丼セット B 表紙コーディネートの作業着 サイズ：S・M・L

[アンケート回答書] 下記の質問にお答えください。

Q1. 誌面の中で興味深かった記事はどれですか? ※複数回答可

- あの人の VIEW POINT
- 特集
 - 指定団体制度をめぐる問題から制度を考える
 - 生産者の立場から考える
 - 乳業メーカーの立場から考える
 - 研究者の視点から考える
- ホクレンマーケット通信
 - 個食化に対応した付加価値商品の開発「炭火焼豚丼」
 - ホクレン福岡支店
 - mori★repo「ホクレン大収穫祭 in 銀座三越」実施レポート
 - 海外駐在員レポート シンガポール
- みんなの取り組み広場
 - 植生改善に向けた取り組み
 - 農作業パート確保に向けた新しい取り組み
- 品種・技術ここがポイント!
 - 土壌診断による施肥改善
 - アスパラガスの品種動向について
 - でん粉原料用馬鈴しょ新品種「コナヒメ」
- 農業経営塾
 - 耕地図への書き込みから始まる経営管理
- 情報clip
 - 新規農薬
 - 各種災害共助・見舞金制度ご紹介
 - ICT情報 水田センサで見える化に取り組む
- 読者の皆さんからの声・営農技術ここがポイント

Q2. 今号の満足度をお答えください。



Q3. 今後取り上げて欲しいテーマをご記入ください。

Q4. あなたのご自慢の「営農技術ここがポイント」があればお教えてください。

Q5. 日頃心がけている農業機械の整備のポイントがあればお教えてください。

Q6. ご意見・ご感想・改善点などをご記入ください。

<農業なんでも川柳>応募欄

※お送りいただいたお名前、ご住所、電話番号などの個人情報は商品の発送、誌面づくりの基礎データとしての目的以外には一切使用いたしません。個人情報は厳重に保管・管理し、漏洩、滅失、毀損の防止、その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講ずるよう努めます。また第三者への提供・開示などは一切いたしません。